



2022 年度

「授業形態に関するアンケート」集計結果報告書

2023 年 7 月

1. はじめに-----	P.1
2. 回答者の属性-----	P. 1
3. 各授業形態に対する満足度-----	P. 3
4. おわりに-----	P. 9

発行：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の流行が依然として終息しない中、法政大学では対面授業を基本として行いながら、授業内容を踏まえてオンライン授業の効果が見込まれる一部の授業については、オンラインを活用してきました。このような状況下において、オンライン授業や対面授業を含む各授業形態の満足度を把握し、今後の教育改善や学習支援に活かすことを目的として、教育開発支援機構教育開発・学習支援センターでは「授業形態に関するアンケート」を実施しました。春学期は2022年6月30日（木）～8月8日（月）、秋学期は2022年12月7日（水）～2023年2月7日（火）にアンケートを実施しました。アンケート対象者は全学部生・大学院生（通学課程の科目を履修している通信教育部生を含む）、調査方法は法政大学アンケートシステムを用いました。回答数は4,543名（回答率7.7%）となりました。

2. 回答者の属性

a. 2.1 学年別回答者数

学部の学年別回答者数及びその構成比は表 2.1a のようになりました。春学期と秋学期を合わせた回答者数の学年別平均は 992 人、標準偏差は 583 人であり、ばらつきがあります。春学期も秋学期も回答者数は1年生が最も多く（春+秋の構成比は約 50%）、学年が上がるにつれて減っています。どの学年も秋学期の回答者数は春学期よりも減っていますが、1年生の減少が大きいので、秋学期は春学期よりも変動係数（ばらつき）が小さくなっています。

表 2.1a 学年別回答者数及びその構成比（学部）

	回答者数（人）			構成比（%）		
	①春	②秋	③春+秋	①春	②秋	③春+秋
1年	1163	785	1948	51.9	45.5	49.1
2年	515	461	976	23.0	26.7	24.6
3年	298	265	563	13.3	15.4	14.2
4年	266	214	480	11.9	12.4	12.1
全学年	2242	1725	3967	100.0	100.0	100.0
平均	561	431	992			
標準偏差	361	224	583			
変動係数	0.64	0.52	0.59			

大学院の学年別回答者数及びその構成比は表 2.1b のようになりました。大学院について見ると春学期も秋学期も回答者数は修士1年生が最も多く、学年が上がるにつれて減っています。学部とは異なり、春学期と秋学期の回答者数に大きな変化はありませんでした。

表 2.1b 学年別回答者数及びその構成比（大学院）

	回答者数（人）			構成比（％）		
	①春	②秋	③春＋秋	①春	②秋	③春＋秋
修士1年	125	127	252	43.3	44.3	43.8
修士2・3年	98	98	196	33.9	34.1	34.0
博士後期	31	27	58	10.7	9.4	10.1
その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
専門職学位課程1年	26	27	53	9.0	9.4	9.2
専門職学位課程2年	8	8	16	2.8	2.8	2.8
専門職学位課程3年	1	0	1	0.3	0.0	0.2
専門職学位課程その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
全学年	289	287	576	100.0	100.0	100.0

b. 2.2 所属別回答者数

学部別回答数とその構成比は表 2.2a のようになりました。最も構成比が高かったのは法学部で 12.4%（春＋秋）でした。その他に 10%を超えたのは3学部（文学部、経済学部、理工学部）ありました。なお現代福祉学部、グローバル教育センター、通信教育部を除き、秋学期の回答者数は春学期よりも少なくなっています。

表 2.2a 学部別回答者数とその構成比（学部）

	回答者数（人）			構成比（％）		
	①春	②秋	③春＋秋	①春	②秋	③春＋秋
法学部	300	190	490	13.4	11.0	12.4
文学部	274	203	477	12.2	11.8	12.0
経済学部	274	242	516	12.2	14.0	13.0
社会学部	208	147	355	9.3	8.5	8.9
経営学部	179	132	311	8.0	7.7	7.8
国際文化学部	97	76	173	4.3	4.4	4.4
人間環境学部	138	90	228	6.2	5.2	5.7
現代福祉学部	66	92	158	2.9	5.3	4.0
情報科学部	96	72	168	4.3	4.2	4.2
キャリアデザイン学部	99	61	160	4.4	3.5	4.0
デザイン工学部	51	73	124	2.3	4.2	3.1
理工学部	248	166	414	11.1	9.6	10.4
生命科学部	113	106	219	5.0	6.1	5.5
グローバル教養学部	26	16	42	1.2	0.9	1.1
グローバル教育センター	2	2	4	0.1	0.1	0.1
スポーツ健康学部	68	49	117	3.0	2.8	2.9
通信教育部	3	8	11	0.1	0.5	0.3
全学年	2242	1725	3967	100.0	100.0	100.0
平均	132	101	233			
標準偏差	95	68	161			
変動係数	0.72	0.67	0.69			

学科別回答数とその構成比は表 2.2b のようになりました。構成比で見て最も高かったのは人文科学研究科の 18.8% (春+秋) でした。その他に 10%を超えたのが 3 学科 (政策創造研究科、公共政策研究科、理工学研究科) ありました。

表 2.2b 学科別回答者数とその構成比 (大学院、その他)

	回答者数 (人)			構成比 (%)		
	①春	②秋	③春+秋	①春	②秋	③春+秋
人文科学研究科	56	52	108	19.4	18.1	18.8
国際文化研究科	2	1	3	0.7	0.3	0.5
経済学研究科	6	10	16	2.1	3.5	2.8
法学研究科	8	6	14	2.8	2.1	2.4
政治学研究科	9	6	15	3.1	2.1	2.6
経営学研究科	28	28	56	9.7	9.8	9.7
人間社会研究科	4	7	11	1.4	2.4	1.9
社会学研究科	4	3	7	1.4	1.0	1.2
情報科学研究科	7	10	17	2.4	3.5	3.0
政策創造研究科	30	28	58	10.4	9.8	10.1
デザイン工学研究科	21	14	35	7.3	4.9	6.1
公共政策研究科	33	35	68	11.4	12.2	11.8
キャリアデザイン学研究科	10	10	20	3.5	3.5	3.5
理工学研究科	31	39	70	10.7	13.6	12.2
スポーツ健康学研究科	5	3	8	1.7	1.0	1.4
法務研究科	11	9	20	3.8	3.1	3.5
イノベーション・マネジメント研究科	24	26	50	8.3	9.1	8.7
全学年	289	287	576	100.0	100.0	100.0
平均	17	17	34			
標準偏差	14	14	29			
変動係数	0.84	0.86	0.84			

3. 各授業形態に対する満足度

3.1 リアルタイム配信型 (Zoom 等を使って双方向型で曜日・時限を設定して実施するもの)

リアルタイム配信型授業について、どの程度満足しているか、「満足」から「不満」までの 5 段階尺度に「受講していない」を合わせた 6 つの選択肢で尋ねました。その結果を円グラフで示したのが図 3.1.1 (学部) 及び図 3.1.2 (研究科) です。

まず学部について見ると、春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると 12.9% はそもそもリアルタイム配信型を受講していませんでした。そして 36.7% が「満足」、32.5% が「やや満足」と回答していますので、受講していない回答者を除くと 79% (= (36.7%+32.5%) / (100%-12.9%)) が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

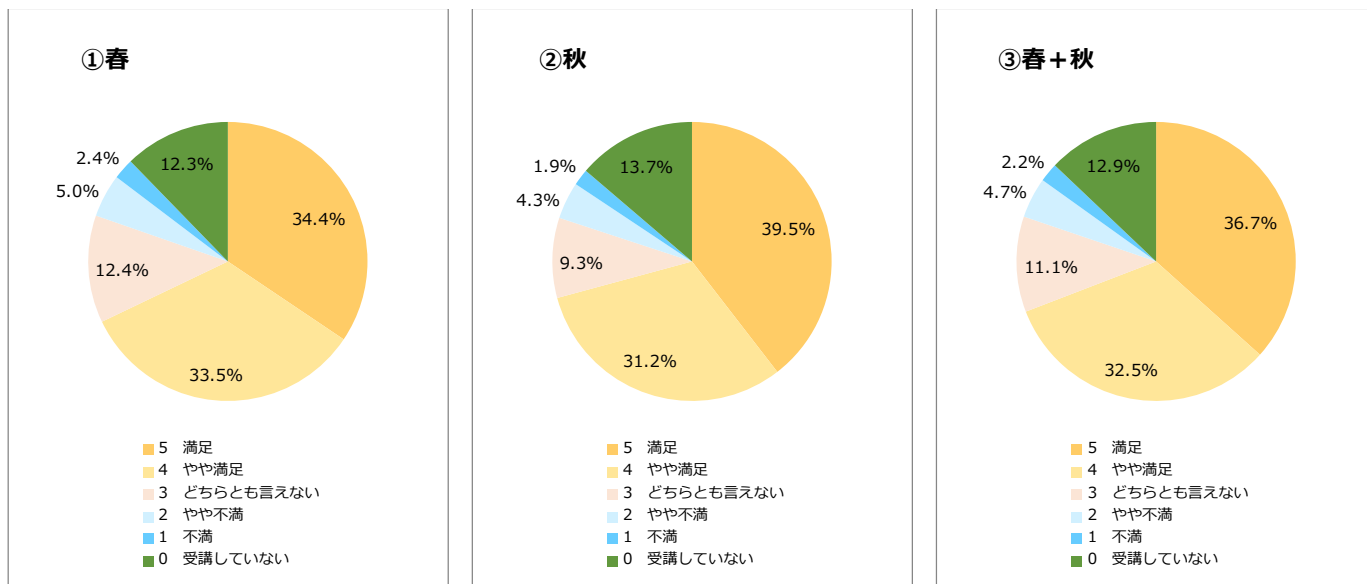


図 3.1.1 リアルタイム配信型授業に対する満足度（学部）

次に大学院について見ると、こちらも春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると 17.7%はそもそもリアルタイム配信型を受講していませんでした。そして 54.9%が「満足」、18.9%が「やや満足」と回答していますので、受講していない回答者を除くと 90% (= (54.9%+18.9%) / (100%-17.7%)) が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

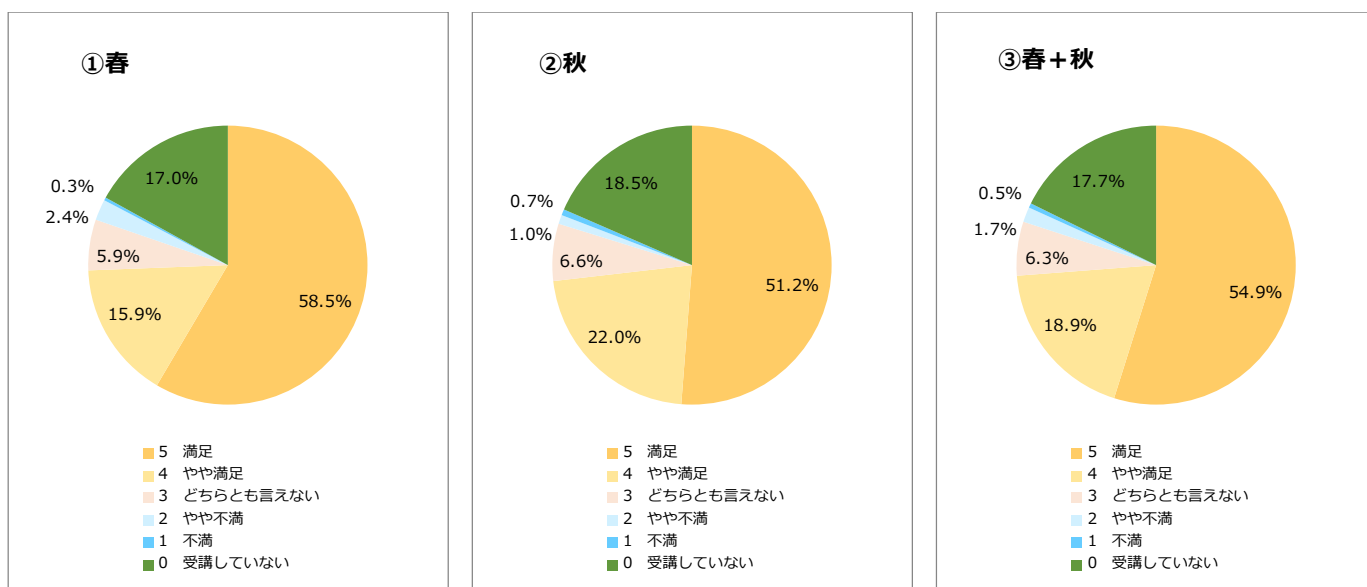


図 3.1.2 リアルタイム配信型授業に対する満足度（大学院）

3.2 動画型（オンデマンドによる動画配信を中心とするもの）

動画型授業について、どの程度満足しているか、「満足」から「不満」までの5段階尺度に「受講していない」を合わせた6つの選択肢で尋ねました。その結果を円グラフで示したのが図 3.2.1（学部）及び図 3.2.2（研究科）です。まず学部について見ると、春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると 11.1%はそもそも動画型授業を受講していませんでした。そして 51.9%が「満足」、23.5%が「やや満足」と回答

していますので、受講していない回答者を除くと 85% (= (51.9%+23.5%) / (100%-11.1%)) が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

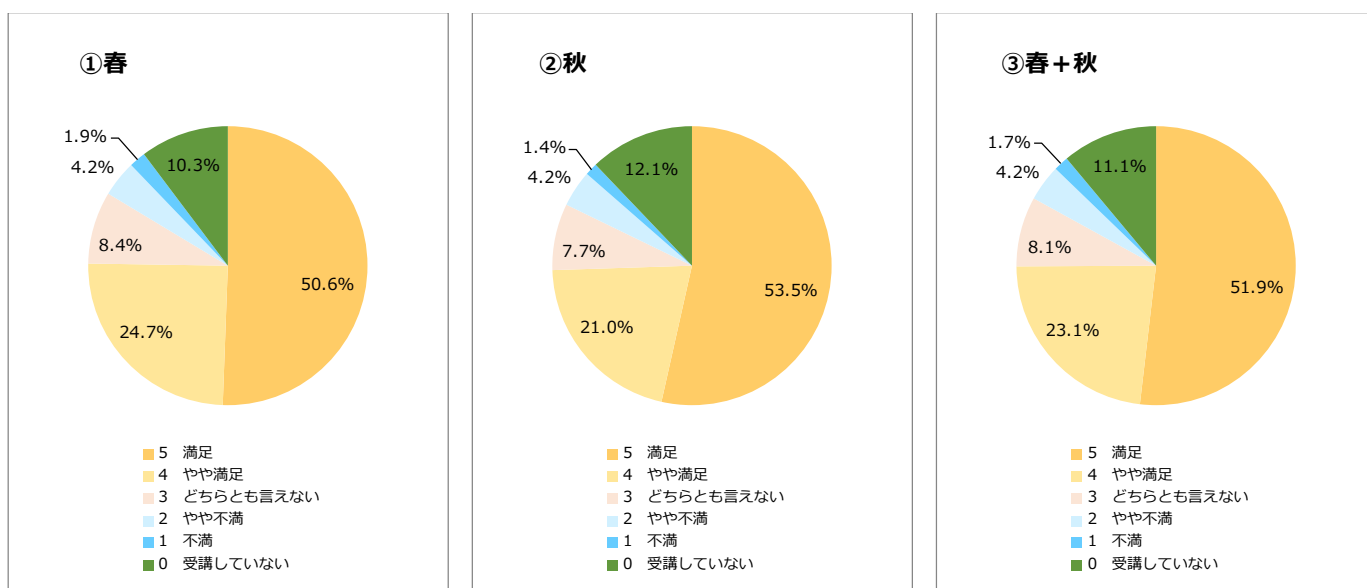


図 3.2.1 動画型授業に対する満足度 (学部)

次に大学院について見ると、こちらも春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると 48.3%はそもそも動画型授業を受講していませんでした。そして 30.2%が「満足」、12.7%が「やや満足」と回答していますので、受講していない回答者を除くと 83% (= (30.2%+12.7%) / (100%-48.3%)) が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

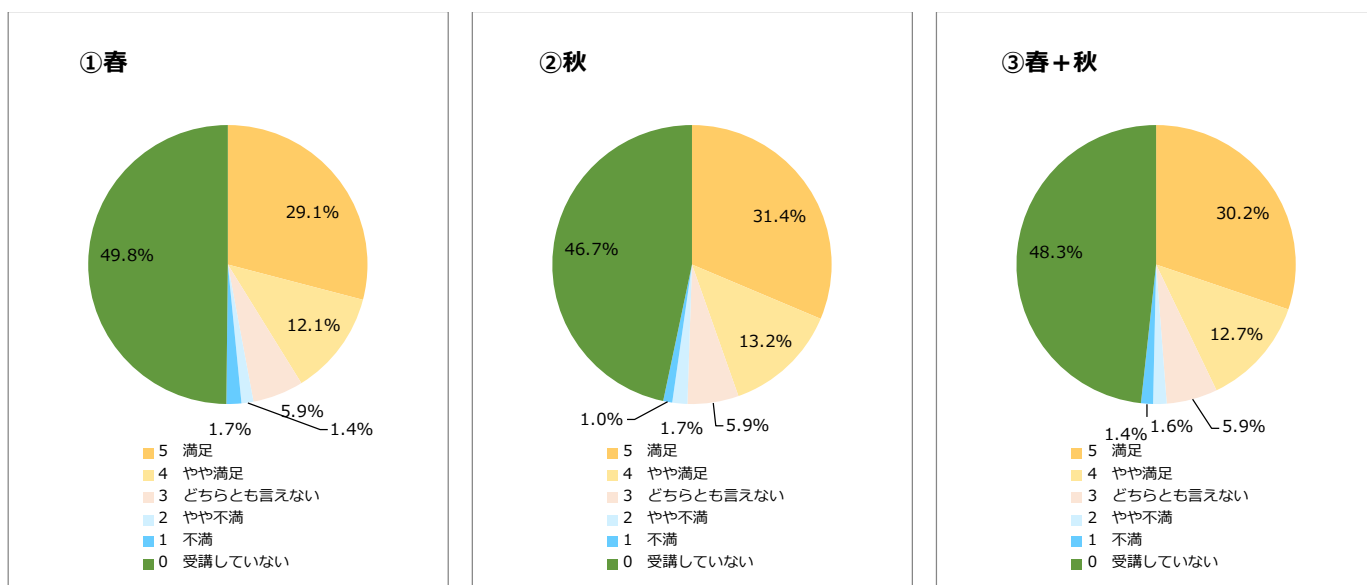


図 3.2.2 動画型授業に対する満足度 (大学院)

3.3 資料型（オンデマンドによる資料・課題の提示を中心とするもの）

資料型授業について、どの程度満足しているか、「満足」から「不満」までの5段階尺度に「受講していない」を合わせた6つの選択肢で尋ねました。その結果を円グラフで示したのが図 3.3.1（学部）及び図 3.3.2（大学院）です。

まず学部について見ると、春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると 18.6%はそもそも資料型授業を受講していませんでした。そして 42.4%が「満足」、19.8%が「やや満足」と回答していますので、受講していない回答者を除くと 78%（=（42.4%+19.8%）／（100%-18.6%））が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

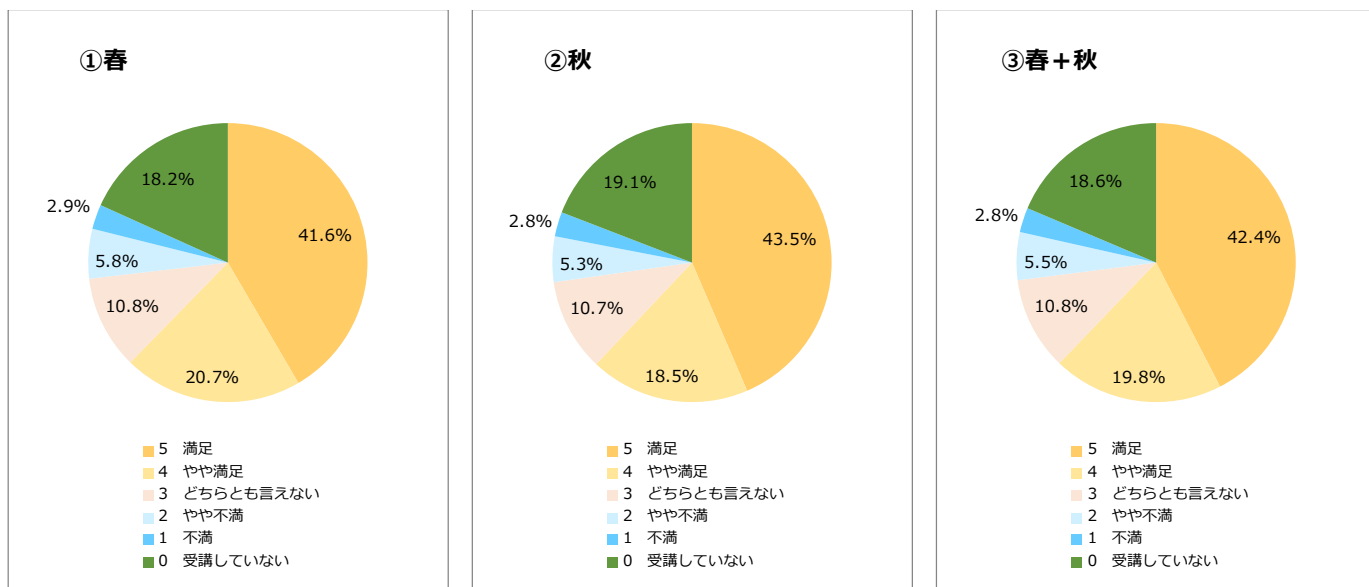


図 3.3.1 資料型授業に対する満足度（学部）

次に大学院について見ると、こちらも春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると 50.0%はそもそも資料型授業を受講していませんでした。そして 28.0%が「満足」、12.5%が「やや満足」と回答していますので、受講していない回答者を除くと 81%（=（28.0%+12.5%）／（100%-50.0%））が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

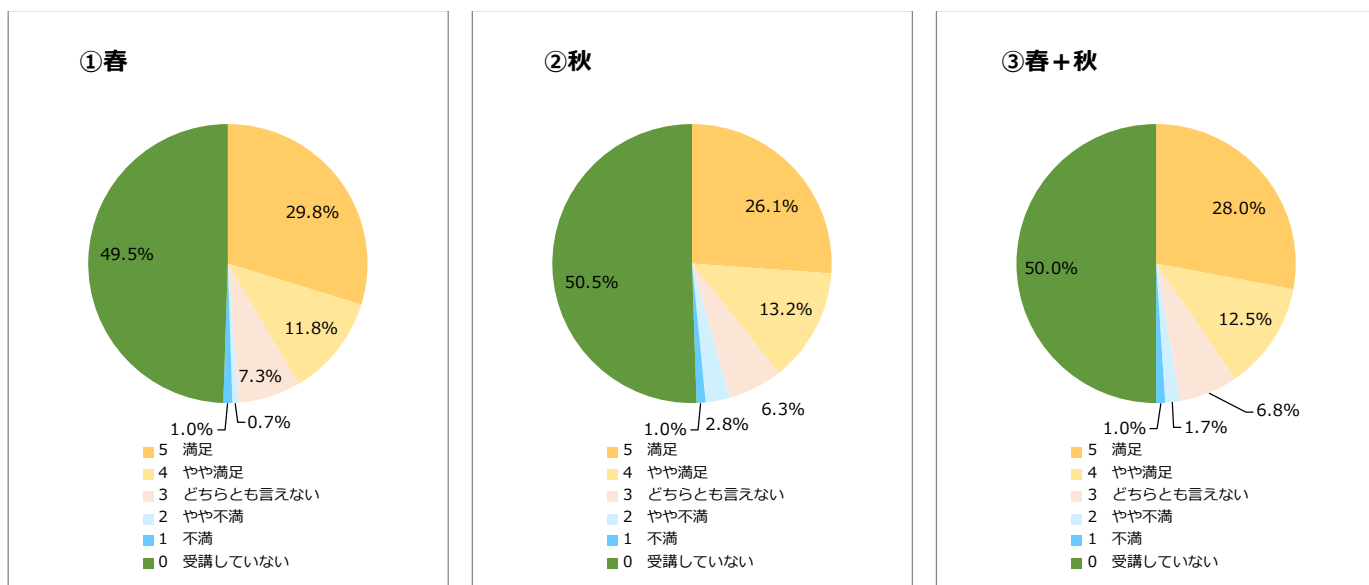


図 3.3.2 資料型授業に対する満足度（大学院）

3.4 ハイフレックス授業（対面授業をオンラインで同時配信するもの）

ハイフレックス型授業について、どの程度満足しているか、「満足」から「不満」までの5段階尺度に「受講していない」を合わせた6つの選択肢で尋ねました。その結果を円グラフで示したのが図 3.4.1（学部）及び図 3.4.2（大学院）です。

まず学部について見ると、春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると 17.9%はそもそもハイフレックス型授業を受講していませんでした。そして 42.6%が「満足」、23.8%が「やや満足」と回答していますので、受講していない回答者を除くと 81%（ $= (42.6\% + 23.8\%) / (100\% - 17.9\%)$ ）が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

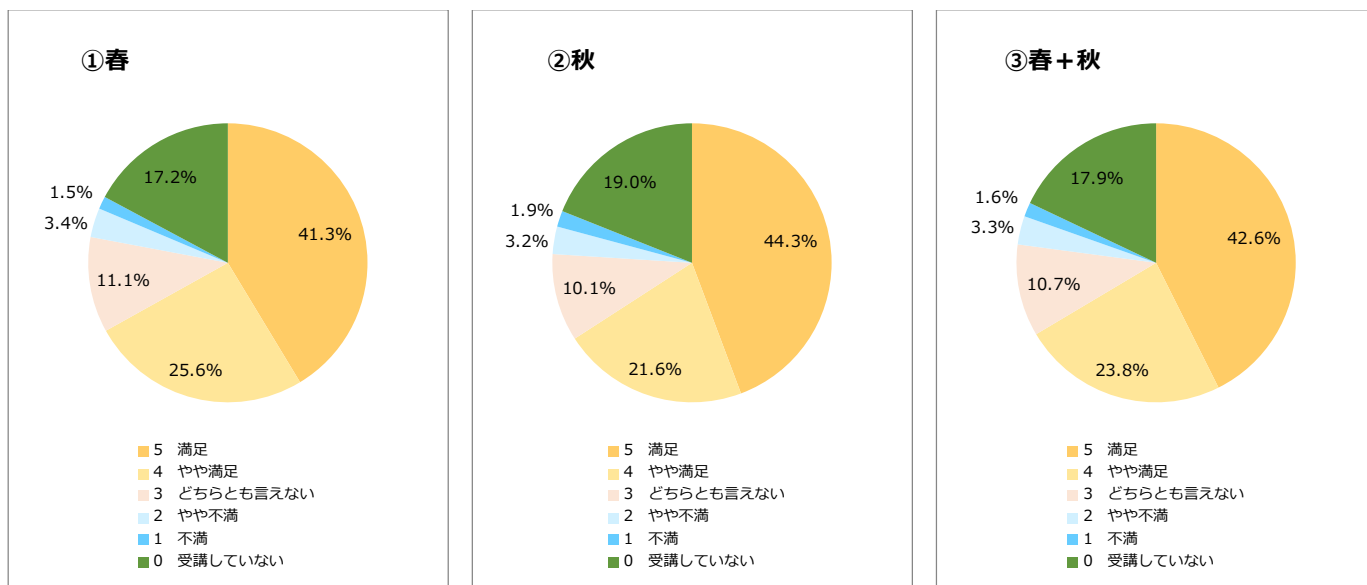


図 3.4.1 ハイフレックス授業に対する満足度（学部）

次に大学院について見ると、こちらも春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると 23.8%はそもそも資料型授業を受講していませんでした。そして 42.0%が「満足」、17.0%が「やや満足」と回答していますので、受講していない回答者を除くと 77%（ $= (42.0\% + 17.0\%) / (100\% - 23.8\%)$ ）が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

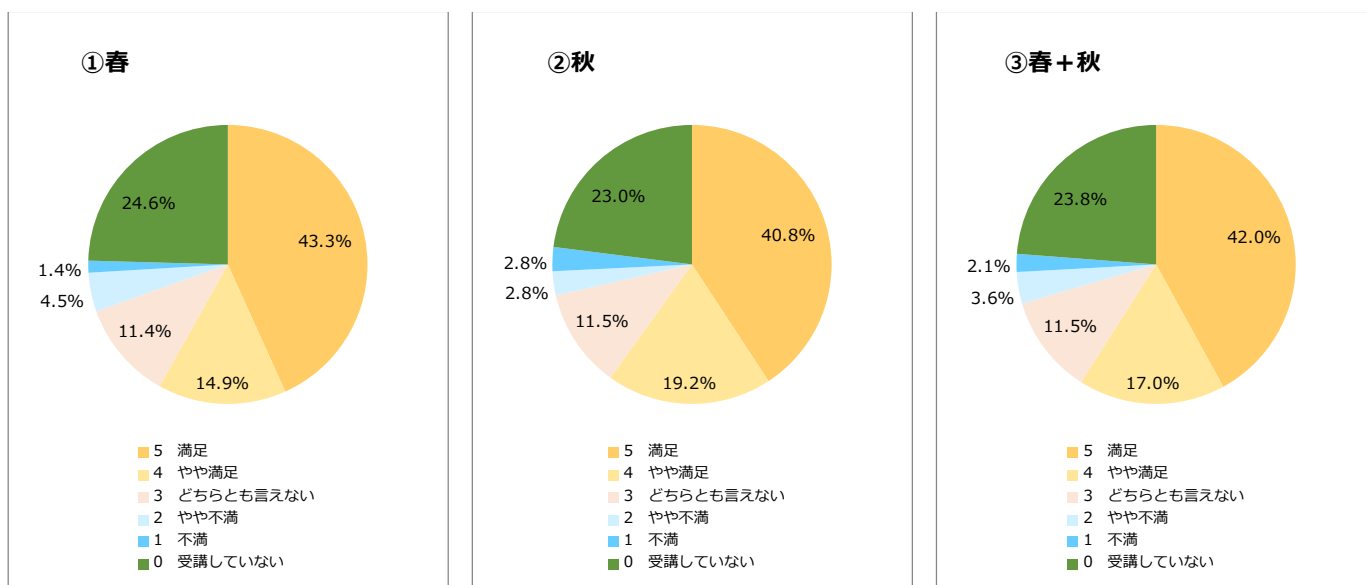


図 3.4.2 ハイフレックス授業に対する満足度（大学院）

3.5 対面授業（従来の教室授業）

対面授業について、どの程度満足しているか、「満足」から「不満」までの5段階尺度に「受講していない」を合わせた6つの選択肢で尋ねました。その結果を円グラフで示したのが図3.5.1（学部）及び図3.5.2（大学院）です。

まず学部について見ると、春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると39.1%が「満足」、29.4%が「やや満足」と回答していますので、受講していない回答者を除くと70%（ $(39.1\% + 29.4\%) / (100\% - 2.3\%)$ ）が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

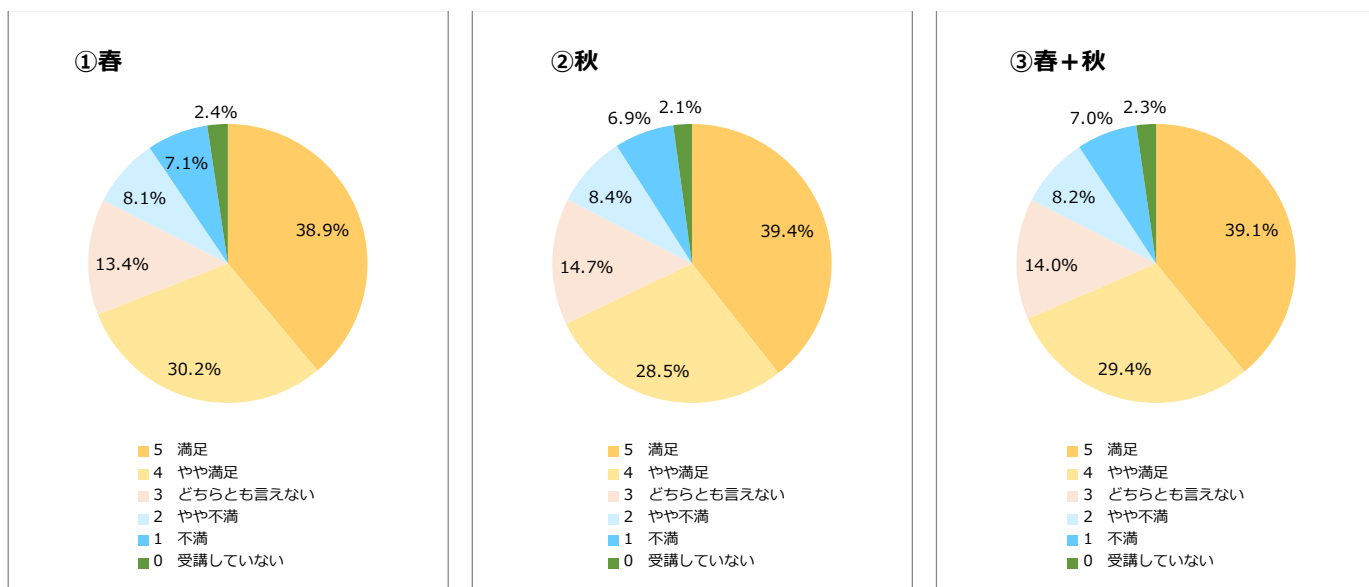


図 3.5.1 対面授業に対する満足度（学部）

次に大学院について見ると、こちらも春学期と秋学期で構成比に大きな違いはありませんでした。春学期および秋学期の合計で見ると8.2%はそもそも対面授業を受講していませんでした。そして65.1%が「満足」、15.6%が「やや満足」と回答していますので、受講していない回答者を除くと88%（ $(65.1\% + 15.6\%) / (100\% - 8.2\%)$ ）が「満足」あるいは「やや満足」と回答していることになります。

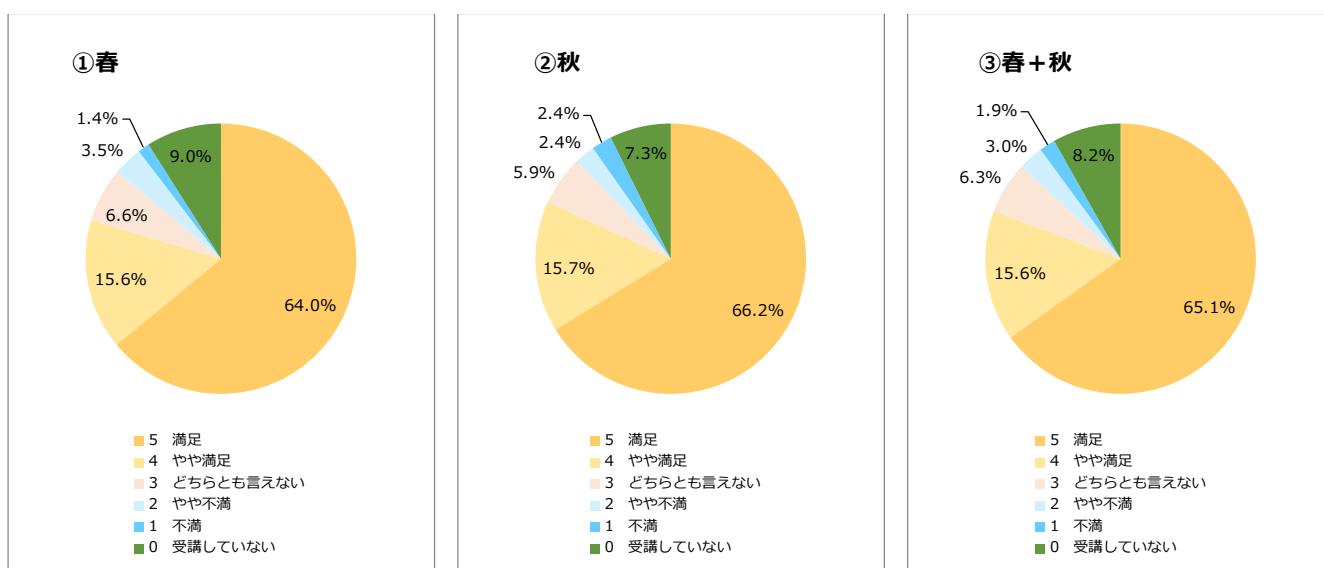


図 3.5.2 対面授業に対する満足度（大学院）

4. おわりに

以上、授業形態別の満足度に関するアンケート結果について見ていきました。巻末資料には参考までに学年別、所属（学部、研究科）別の集計表も示されています。ただし、学部間比較あるいは研究科間比較については、回答者数が少ない学部あるいは研究科がありますので、読み取りの際にはご注意ください。

新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに、法政大学は対面授業を含めながら 2022 年度も引き続きオンライン授業を実施してきましたが、その質の向上は喫緊の課題です。教育開発・学習支援センターの目的は、「ファカルティ・デベロップメント（FD）を中心に、本学での主体的な教育改善と学習を効果的に支援すること」であり、オンライン授業の質の向上についても、有益なサポートを行ってまいります。今後とも、教育開発・学習支援センターの活動へのご協力をどうぞお願い申し上げます。

お問い合わせ： 法政大学教育開発支援機構教育開発・学習支援センター (<http://www.hoseikyoiku.jp/lf/>)
事務局 学務課教育支援課 Tel: 03-3264-4268 E-mail: kyoiku@hosei.ac.jp